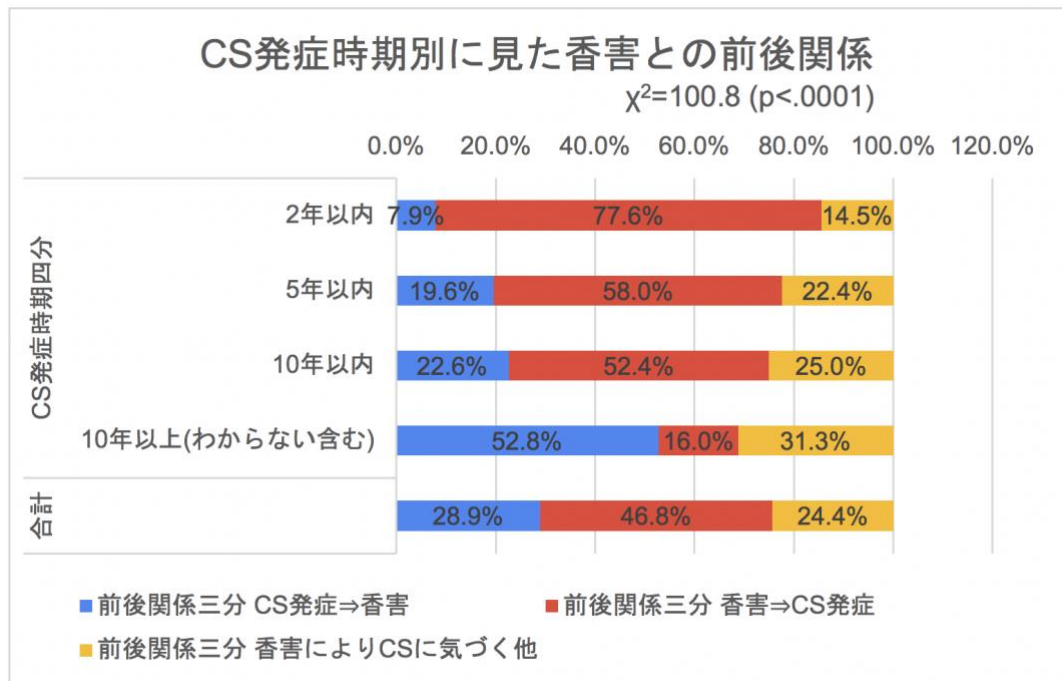


「香害と化学物質過敏症に関するアンケート」香害をなくそう FB ページ 2023 年 3 月 1 日～3 月 22 日実施 回答数 602 人より

「香害をなくそう」 Facebook ページをフォローする約 4000 人に呼びかけをし、「香害で困っている」人を対象に、「香害と化学物質過敏症」についての WEB アンケートを実施し、602 名の回答を得た。

「化学物質過敏症 (CS) を発症している (診断を受けている)」と回答した人のみを抽出し、「どのくらい前に発症したか」、「発症してから香害に悩まされるようになったのか、それとも、香害によって発症したのか」の 2 項目でクロス集計した。



- 別の要因で既に CS を発症しており、香害にも悩まされるようになった
- 柔軟剤などの香料製品から香害を感じるようになり、その後に CS 症状が出るようになった
- 香害によって、自分がもともと CS の兆候があることに気づいた

近年になればなるほど、CS 発症要因として「香害」が顕著になっている

化学物質過敏症発症要因と香害

○平賀 典子¹⁾, 寺田 良一²⁾

1) 新潟大学非常勤講師, 2) 明治大学名誉教授

【目的】

近年、香害が社会問題になってきているが、香害と化学物質過敏症とが同じ意味合いで使われていたり、香害は化学物質過敏症発症者だけが感じている問題のように報じられることが多く、捉え方が様々である。その一方で、香害が化学物質過敏症の発症を増やしているとの見方もあり、元々化学物質過敏症を発症している人だけが香害を感じているのか、それとも、逆に、香害が化学物質過敏症の発症要因になっているのかを明らかにしたいと考えた。

【方法】

「香害をなくそう」Facebook ページをフォローする約 4000 人に呼びかけをし、「香害で困っている」人を対象に、「香害と化学物質過敏症」についての WEB アンケートを実施した。実施期間は 2023 年 3 月 1 日から 3 月 22 日までの約 3 週間。602 名の回答を得た。複数の質問項目の中から、「化学物質過敏症 (CS) を発症している (診断を受けている)」と回答した人のみを抽出し、「どのくらい前に発症したか」、「発症してから香害に悩まされるようになったのか、それとも、香害によって発症したのか」の 2 項目でクロス集計した。

【結果と考察】

CS の診断を受けていると回答した人の中から、「柔軟剤などの香料製品から香害を感じるようになり、その後に CS 症状が出るようになった」と回答した人の割合を、CS 発症時期別に集計したところ、発症時期が 10 年以内 (52.4%)、5 年以内 (58.0%)、2 年以内 (77.6%) と、近年になればなるほど、香害を要因とする発症が有意に増えていることがわかった。一方で、10 年よりも前に発症している場合には「別の要因で既に CS を発症しており、香害にも悩まされるようになった」という回答が 52.8% と半数以上であることから、以前は、シックハウス症候群など別の要因で発症するケースが多かったが、近年は、香害を要因とするケースにシフトしてきたと考えられる。10 年前といえば、「国民生活センター」が「柔軟仕上げ剤のにおいに関する情報提供 (2013 年)」を出すなど、香害相談が急増した時期とも一致する。

以上のことから、化学物質過敏症発症者だけが香害を感じているというよりも、逆に、香害によって発症者が増えていることが、データとして示されたといえる。今後、化学物質過敏症発症者を増やさないためには、香害製品を規制していくような対策の必要性と、香害問題を少数の化学物質に弱い人だけが困っている問題に留めず、全ての人に関わる問題であるという認識を多くの人に持ってもらうことで、今後の香害対策や化学物質過敏症予防対策につながるものと考えられる。ただし今回の調査は、香害で困っている人を対象にした調査でありランダムサンプルでないこと、また、「CS の診断を受けている」との回答はあくまでも自己申告であるため、専門機関などによる、厳密な調査が必要であろう。